

全労連社会保障闘争本部ニュース No.126 2020 年 11 月 18 日

介護・ヘルパーネット NEWS ④

全国労働組合総連合 〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 4 階 TEL03-5842-5611

介護をよくするアクション月間実施中！！



介護署名行動 署名続々

中央社保協、東京社保協、全労連介護・ヘルパーネット

全労連 介護・ヘルパーネットは 11 月 14 日、中央社保協、東京社保協とともに巣鴨駅前では署名宣伝行動を行いました。介護署名とともにいのちを守る署名にも取り組み、39 人が参加し 1 時間で 62 人分集まりました。

全労連介護ヘルパーネットの責任者の副議長・前田博史さんは、「菅首相は『自助・共助・公助』というのが政治のやるべきことは公助です」と強調し、「来年度さらに軍事費を増額し 5 兆円を超え過去最高額を毎年更新しながら、お年寄りが増えているからと社会保障費削減を平気で言う政治を変えなくてはなりません」と述べ署名への協力を呼びかけました





日本医労連の米沢哲書記次長は「コロナの中大変な思いをして働いている医療・介護労働者は、受診抑制で病院・事業所の経営が厳しいために一時金を削減されている」「国に対し『病院や介護にお金を使って守ること、労働者に必要な PCR 検査を行うこと』を求めている」と紹介。「4 月から介護報酬改定の議論が続いている。この介護報酬を上げなければ事業所はつぶれてしまう。私たちは介護報酬引き上げと利用者負担の軽減の両方を求めている」と述べ、署名への協力を訴えました。

暖かい日差しの中、道行く人が次々と署名に応じてくれました。

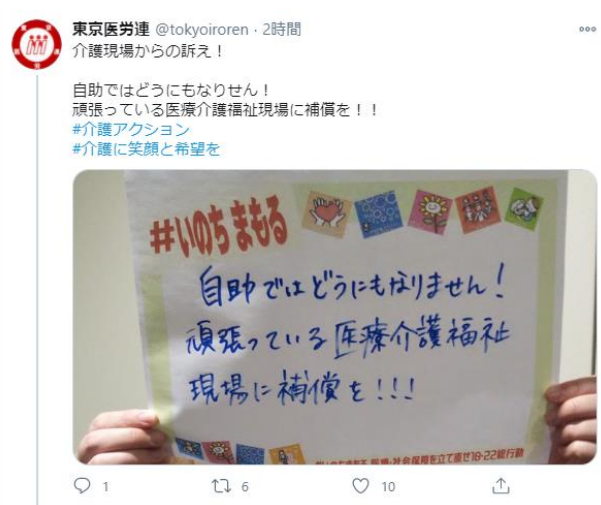
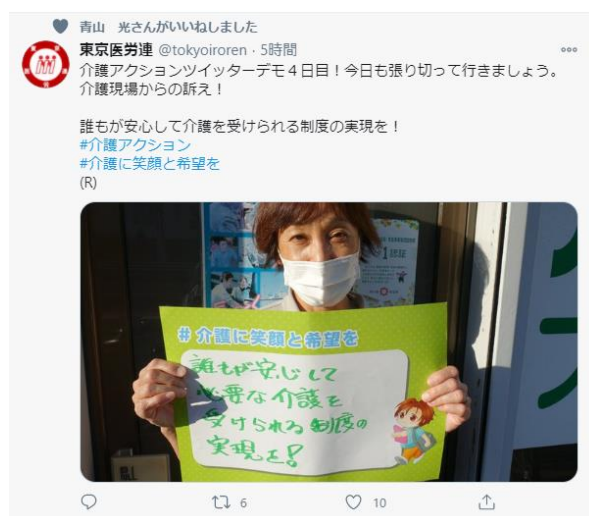


介護一言カードを審議会委員に送付

“私のひとこと”を紹介します！ 新潟民医労・介護職のみなさんから

- 賃金が上がりません。だから人が来ません。だから人が辞めていきます。もっと人を大切にする社会にしてください(特養・33 歳)
- コロナ禍の中、介護職場、病院で働く私たちはいつ保菌者になり利用者の方に移してしまうかもと考え、県外や人の多く集まるところなどへも行けなくなっています。いくら予防をしても心配でも。その中で税金を使ったいろいろなキャンペーンよりも、医療・介護で働いている人たちへ、もっと大きな支援を。介護報酬改定も、利用者負担を増やすのではなく、大幅に引き上げてください。(老健・34 歳)
- 人員が足りません。毎日バタバタです。どうにかしてもらいたいです。激務のため、給料の引き上げをお願いします。(介護老人保健施設・37 歳)
- 人員不足です。もう少しスタッフ(介護職員)を増やしてください。(老健施設・33歳・)
- 介護保険関連サービスの賃金の引き上げを望みます。(介護老人保健施設・49歳)
- 介護報酬の大幅引き上げ、介護労働者の賃金・労働条件の改善を強く求めます。介護福祉士は国家資格です。専門職としてきちんと評価してください。利用者負担増ありきの議論はやめてください。国民目線の予算編成を望みます。コロナ禍で現場スタッフは感染防止のために、人員が不足する中、日々頑張っています。マスクなどの資材もいまだに使用を制限されています。GoTo キャンペーンの予算があるなら、医療・介護のために使ってほしいです。やりがい搾取はやめよ！！社会保障は国の責任です。(労組専従・43歳)
- 人員が足りない。給与を上げてほしい(優秀な人が入ってこない)(介護老人保健施設・47歳)
- 人員が足りません。賃金・労働条件の改善をお願いします。(介護老人保健施設・49歳)
- 早急に人員確保(正職)。派遣はダメ。賃金・ボーナス UP を(介護老人保健施設・41歳)
- 生活をし、子どもの学費を払っていくと、今現在～未来へ金銭的にやっていけるのか、日々不安が付きまっています。子どものやりたいことに笑顔でやっていいよと言っているのか？できていないなど感じます。／人員も不足しており一人一人の職員の負担は大きくなっています。利用者に向き合い、対応をしていくには時間が足りません。やりたい介護もできず介護職のやりがいを感じられる機会も少なくないです。早急の人員増配置が必要です。(介護老人保健施設・43歳)
- 介護報酬の引き上げがなければ、根本が変わることはないと思う。人員、給与、訴えたいことは多数あるが現場の職員は疲れています。(老人保健施設・42歳)
- ボーナスを上げてほしい。人員を増してほしい。(介護老人保健施設・35歳)

東京医労連ツイッターデモやっています！！



介護署名提出 11・25 国会行動

私たちの声を国会へ！

主催団体が7団体に！WEBでも見られます。

学習会講師に認知症の人と家族の会 花俣ふみ代副代表！

○日時 11/25 10:30～14:30

○主催 中央社保協、全日本民医連、全労連、「守ろう！介護保険制度・市民の会」、「認知症の人と家族の会」、「21・老福連(正式名称:21 世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会)」「医療・介護・福祉の会(正式名称:いのちと暮らしを脅かす安全保障関連法に反対する医療・介護・福祉の会)」

○プログラム

10:30～12:00 ミニ学習会 次期介護報酬改定をめぐる動きと私たちの運動
講師 認知症の人と家族の会副代表 花俣ふみ代さん
(厚労省社会保障審議会介護保険部会委員)

12:00～12:30 署名提出行動

13:30～14:30 議員要請と厚労省要請

※学習会と署名提出行動は zoom での視聴が可能です。全労連 栗原までご連絡ください。

kaigo@zenroren.gr.jp まで 組織名と名前、メールアドレスと電話番号を記入して送ってください。